



支援プログラム（放課後等デイサービス）

事業所名	Bee Happy 児童発達支援・放課後等デイサービス	作成日	2025年 3月 1日
事業所理念	Bee Happy児童発達支援・放課後等デイサービスは、人間的で倫理的かつ専門的な支援を通じて、子どもの総合的な発達を促進することを基本理念としています。当事業所では、利用児一人ひとりの個性やニーズ、発達のペースを尊重し、専門的かつ科学的な知識に基づいた適切な支援の提供に努めています。さらに、多職種連携と家族とのパートナーシップを重視し、専門職と保護者の協働が、子どもの成長とウェルビーイングの向上に不可欠であると認識しています。		
支援方針	Bee Happy児童発達支援・放課後等デイサービスでは、利用児の総合的な発達の促進を目的とし、専門性および人間性の双方を重視した支援の提供を基本方針としています。当事業所では、言語聴覚士、心理士、心理教育専門職（心理教育士）、理学療法士等の専門職が連携し、多職種による包括的な支援体制を整えています。各専門職が相互に連携しながら、利用児一人ひとりの特性やニーズに応じた支援を実施しています。また、支援内容は個々の発達状況や課題に基づいて計画し、個別支援および集団活動等、状況に応じた形で実施しています。さらに、保護者への助言や支援を重視し、家庭との連携を図りながら、日常生活のさまざまな場面において子どもの発達を支えるための継続的な支援および具体的な支援方法の提供に努めています。		
営業時間	月曜日～土曜日 9:00～18:00	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	健康および日常生活に関する支援については、AFLS (Assessment of Functional Living Skills) プロトコルを活用し、専門職が子ども一人ひとりの生活スキルを評価しながら、機能的な生活技能の習得を目的とした支援プログラムを実施しています。 就学児（6～18歳）を対象に、より発展的な日常生活スキルの習得を目的とした支援を行っています。具体的には、持ち物の整理整頓、自立的に日課に沿って行動する力、身の回りの衛生管理、簡単な軽食の準備、必要な情報を尋ねる行動、順番を待つこと、集団活動への参加等のスキルの向上を図っています。また、これらの支援においては、必要に応じて視覚的支援や代替・拡大コミュニケーション（AAC）を活用し、機能的なコミュニケーションの向上および日常生活における自立の促進を図っています。	
	運動・感覚	運動および感覚の発達に関する支援については、固有受容感覚（プロプリオセプション）への刺激や、さまざまな感触および感覚体験の探索を取り入れた活動を通して実施しています。これらの活動は、感覚統合を促進し、子どもたちの身体認識の向上を目的としています。また、運動サーキットや日常生活動作を取り入れた活動を実施し、運動面および感覚面の発達を支援しています。これにより、協調運動、主体性および自立性の向上を図り、日常生活のさまざまな活動への適応力の向上につなげています。 就学児（6～18歳）を対象に、より構造化された運動サーキットや、バランス能力および協調性の向上を図る活動（線の上を歩く、障害物を跳び越える、ボールを投げる・受け取るなど）を実施しています。また、運動計画や協力を要するゲーム活動や、日常生活動作を取り入れた実践的な活動（物品の整理、道具の操作、簡単な作業への参加等）を実施しています。これらの活動を通して、身体コントロール、運動の組織化および自立的な行動の向上を図っています。	
	認知・行動	認知および行動の発達に関する支援については、応用行動分析（ABA: Applied Behavior Analysis）の原則に基づいた構造化された活動を通して実施しています。これらの支援では、注意力、記憶力、思考力、問題解決能力等の認知機能の発達を促すとともに、適応行動、自己調整、行動の整理、社会的スキルの向上を図っています。 就学児（6～18歳）を対象に、ルールのあるゲーム、論理的思考を促す活動、順序づけ、パズル、記憶ゲーム、物語の読み聞かせ、構造化された学習活動等を取り入れ、問題解決能力および社会的スキルの発達を支援しています。また、必要に応じて代替・拡大コミュニケーション（AAC）を活用し、コミュニケーションボードや視覚カード等の支援ツールを用いて、機能的コミュニケーションの拡充や集団活動への参加の促進を図っています。	
	言語・コミュニケーション	言語およびコミュニケーションの発達に関する支援については、日常生活のさまざまな場面において機能的なコミュニケーションの拡充を目的とした構造化された活動を通して実施しています。支援内容には、言語理解および言語表出の促進、語彙の拡大、機能的コミュニケーションの発達、社会的相互作用スキルの向上等が含まれます。また、必要に応じて、絵カード、コミュニケーションボード、視覚的支援等の代替・拡大コミュニケーション（AAC）を活用しています。 就学児（6～18歳）を対象に、文の形成、語彙の拡大、会話のやり取り、より複雑な指示の理解、質問応答活動、物語の語りや読み聞かせ等を取り入れ、言語能力の発達を促しています。また、発話の順番を待つことや会話の維持等、語用的言語能力（プラグマティクス）の発達を支援しています。さらに、必要に応じて代替・拡大コミュニケーション（AAC）を活用し、機能的コミュニケーションの向上や集団活動・社会的交流への参加の促進を図っています。	

	<p>人間関係・社会性</p>	<p>人間関係および社会性の発達に関する支援については、子ども同士の相互交流を促す構造化された活動を通して実施しています。これらの活動では、ルールの遵守や協力行動、社会的スキルの習得を目的とし、共有行動、順番を待つ行動、社会的相互作用の開始や維持、感情の認識および適切な表出等の発達を促しています。就学児（6～18歳）を対象に、ルールのあるゲーム、集団活動、ロールプレイ（ごっこ遊び）、簡単なトラブル解決、共同作業への参加等を通して、社会的スキルの発達を支援しています。また、会話の開始、助けを求め行動、順番や役割の遵守、社会的ルールの理解等のスキルの育成を図っています。これらの活動を通して、社会的関係の形成を促進するとともに、さまざまな社会的場面への適応力の向上を図っています。</p>	
	<p>家族支援</p>	<p>当事業所では、利用児の発達をより効果的に支えるため、保護者への支援を重視しています。子どもの発達状況や支援の進捗については、定期的なフィードバックを通して保護者と共有しています。また、保護者を対象とした講習会や説明会を実施し、子どもの発達や支援方法に関する理解を深める機会を提供しています。さらに、AFLS (Assessment of Functional Living Skills) 評価を活用し、日常生活スキルの発達状況や成長の過程について保護者と共有しています。加えて、必要に応じて各種支援制度や福祉サービスの利用方法に関する情報提供を行い、保護者が子どもにとって適切な支援を受けられるよう支援しています。</p>	<p>移行支援</p> <p>移行支援については、子どもが利用しているさまざまな生活環境との連携を図りながら実施しています。具体的には、学校、幼稚園・保育園、課外活動先、その他の支援機関等と情報共有や連絡調整を行い、子どもの状況に応じた支援の継続性を確保しています。また、これらの関係機関の専門職と情報交換や助言を行いながら、子どもがそれぞれの環境に適応しやすくなるよう、支援方法の調整および共有を行っています。これらの取組を通して、子どもが環境の変化に円滑に適応できるよう、段階的で安心できる移行を支援するとともに、さまざまな生活場面における参加および成長の促進を図っています。</p>
	<p>地域支援・地域連携</p>	<p>当事業所では、子どもたちが地域社会とのつながりを深め、多様な社会的経験を積むことができるよう、地域との連携を重視した活動を実施しています。具体的には、公園、動物園、プール、商業施設、プラネタリウム等の地域施設への外出活動を行い、子どもたちがさまざまな社会環境を体験できる機会を提供しています。これらの活動を通して、社会的スキルおよびコミュニケーション能力の発達を促すとともに、実生活場面における適応力の向上を図っています。また、これらの経験により、子どもたちの社会参加の拡充および自立性の向上を図るとともに、事業所で習得したスキルを日常生活のさまざまな場面へ一般化できるよう支援しています。</p>	<p>職員の質の向上</p> <p>当事業所では、職員の専門性向上を目的として、継続的な研修および人材育成に取り組んでいます。具体的には、事業所内研修、専門的なスーパービジョン、外部研修への参加等を通して、職員の知識や技術の向上を図っています。また、職員の継続教育への参加を奨励し、大学院課程への進学や専門資格の取得、ABAに基づく言語支援 (Language in ABA) 等の専門的な研修や、児童発達分野に関する各種講座への参加を推進しています。これらの取組により、職員が最新の専門知識を継続的に習得できる環境を整え、科学的根拠に基づいた質の高い支援の提供に努めています。</p>
	<p>主な行事等</p> <p>当事業所では、年間を通してさまざまな行事や活動を実施し、子ども同士の交流や社会性の発達を促すとともに、子ども・保護者・職員のつながりを深める機会を重視しています。主な行事としては、フェスタ・ジュニーナ（ブラジルの伝統行事）、仮装パーティー、イースターイベント、子どもの日のお祝い、クリスマス会等があり、子どもたちが楽しみながら参加し、集団における交流や学びの機会を得られるよう取り組んでいます。これらの行事は、子どもたちが多様な体験を通して社会的交流を深め、楽しみながら学び成長する機会となっています。また、保護者を対象とした講習会や説明会を実施し、子どもの発達や支援方法に関する情報提供を行うことで、家庭との連携を深め、子どもの成長を共に支える体制の構築を図っています。</p>		